

行政Ⅱ Q&A

問 「行政Ⅰ」と「行政Ⅱ」との違いは？

答 次のとおりとなります。

項 目		行政Ⅰ	行政Ⅱ
対 象		従来からの行政職と同様	卓越した経験又は高度な専門知識・資格を有し、その専門知識・資格や実績を得るために培った広い視野、行動力、逞しさなどを県政の推進に活かしたいという強い意欲を持っている人
受験資格		違いはありません	
試験内容	第1次試験（配点）	教養試験（40点）及び 専門試験（40点）	教養試験（20点）及び 自己アピール試験（60点）
	第2次試験（配点）	違いはありません	
採用後の職務内容・処遇		違いはありません	

問 「卓越した経験又は高度な専門知識・資格」とは具体的に何ですか？

答 例示すると次のとおりですが、あくまで例示ですので、卓越した経験又は高度な専門知識・資格かどうかについては、受験者自身の判断によります。

ご自身の判断により、その専門知識・資格や実績を得るために培った広い視野、行動力、逞しさなどを県政の推進に対して活かしたいという強い意欲を持っている人は、ぜひ受験していただきたいと考えています。

- 1 青年海外協力隊、継続して1年以上の海外留学・海外活動、高度な社会貢献（ボランティア活動、NPO活動）などの卓越した経験
- 2 法律、税務、防災、その他、多方面の分野における高度な専門知識・資格

問 「行政Ⅱ」の第1次試験において、専門試験に代えて、自己アピール試験を導入した理由は何ですか？

答 卓越した経験や高度な専門知識・資格により得た能力・実績を評価するために、自己アピール試験を導入しました。

問 「行政Ⅰ」と「行政Ⅱ」の両方に申し込むことは可能ですか？

答 申込みのできる試験区分は1つとなっておりますので、両方に申し込むことはできません。また、申込書の受理後は試験区分の変更はできませんので、「行政Ⅰ」と「行政Ⅱ」のどちらで申し込むかについてはよく考えた上でお申し込みください。